

# 「特別の教科 道徳」学習指導略案

第5学年

1. 主題名 「誰に対しても思いやりの心で」 B親切、思いやり

2. 資料名 「UDって何だろう」 (出典：学研「みんなの道徳5」)

3. ねらい

年齢や性別、障害のあるなし、国籍などに関係なく、誰もが使いやすいように工夫する考え方について理解を深め、相手の立場に立って親切に行動しようとする心情を育てる。

4. 展開

時間	学習活動 (○発問、☆中心発問) と児童の反応 (・)	◇指導上の留意点 ◆評価の視点
導入 5分	<p><b>1 今までの生活から、ユニバーサルデザインの在り方について考える。</b></p> <p>○「ユニバーサルデザイン」という言葉を聞いたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな（誰も）が使いやすくなる便利なもの</li> <li>・障害があっても、問題なく使えるもの</li> </ul>	<p>◇「みんな」とはどのような人を指すのか、年齢や性別、障害のあるなし、国籍など具体的なイメージを膨らませ、ねらいとする道徳的価値へ方向付ける。</p>
展開 35分	<p><b>2 「UDって何だろう」を読んで感じたことを話し合い、道徳的価値の大切さを考える。</b></p> <p>○ユニバーサルデザインの例を見て、それぞれどのようなよさがあるかを考えてみましょう。</p> <p>【シャンプーボトル・自動水栓・スロープ・多目的トイレ・はさみ・エレベーターなど】</p> <p>☆ユニバーサルデザインや、7原則には、ルイスさんのどのような思いが込められているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の不便をなくしたい</li> <li>・障害のあるなしに関係なく、全員が使用しやすいものを考えたい。</li> <li>・差別や偏見をなくしたい。</li> </ul>	<p>◇教科書は見せず、電子黒板に写真を掲示することで、多面的・多角的に見方を発展させ、自分たちで良さを考えられるようにする。</p> <p>◇障害のある人のためにだけに作られたデザインではないことを知ることで、ユニバーサルデザインの考え方がもたらす良さに目を向けられるようにする。</p> <p>◆自分の利害だけでなく、誰もが使いやすいように工夫する考え方について理解を深め、相手の立場に立って親切に行動しようと考えを深めている。(発言・ワークシート・観察)</p>
	<p><b>3 自分の生活を振り返る</b></p> <p>○誰に対しても思いやりの心をもって行動するために大切なことは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの気持ちを考えて行動すること。</li> <li>・見て見ぬふりはしないで、自分から行動すること。</li> </ul>	<p>◇全体で感じたことを共有したり、本教材から考えたことを価値付けしたりできるようにする。</p> <p>◆思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることについて、自分自身との関わりの中で考えを深めている。(発言・ワークシート・観察)</p>
終末 5分	<p><b>4 教師の説話を聞く。</b></p> <p>「心のパスポート (P97)」を紹介する</p>	<p>◇ピクトグラムを紹介することで、「思いやり」が誰にでも一目で分かるようになっていいるものがあることを知り、ピクトグラムへの理解を深める。</p>